

世界の異常天候とその影響評価 (33)

(Climate Impact Assessment, December, 1986, NOAA/NESDIS)

1. 合衆国 (西部) — 少雪

カリフォルニアの山岳地帯の雪不足は、7000万ドルと推定される損失をスキー・観光業界にもたらした。10月から12月にかけて、カリフォルニア州とそれに隣接するネバダ州の降水量は平年値の25%以下であったため、1月の第1週に多量の降雪があるまで冬季観光地のいくつかはオープンできなかった。

2. 合衆国 (東部) — 低気圧

大西洋岸を北上し、中部大西洋岸諸州及びニューイングランド諸州を連続的に襲った低気圧は洪水と土壌侵食を引き起こした。低気圧は12月2日、18—19日、24日に襲来した。12月2日の低気圧による死者は15名に及んだ。12月18—19日の低気圧による積雪は、ニューイングランド丘陵部で1—2フィート(30—60 cm)であった。

3. スペインとモロッコ — 少雨

11月、12月のスペイン及び12月のモロッコにおける乾燥した天候は、生育期初期の冬穀物に害を与えた。収穫の減少を免れるためには、速やかに降水が必要である。

4. 東ヨーロッパ — 干ばつ

降水量は若干増加したものの、ルーマニア、ハンガリー、ユーゴスラビアの4カ月合計の降水量は、なお平年値の半分以下である。この干ばつにより、冬穀物の収穫の見込みは減少し、河川水位、地下水の供給に深刻なインパクトがあるだろう。

5. スリランカ — 少雨

11月と12月の平年値以下の降水は主要米作期(マハ期)の収穫を減少させようである。2月から4月に収穫される農作物にとって、1月の降水は特に重要である。



6. フィジー — 熱帯低気圧

熱帯低気圧 Rajah がフィジー諸島を12月26—29日にかけてゆっくり通過し、多量の雨と強風をもたらした。降水量の合計は375 mm (15インチ)を超え、洪水により甚大な被害をもたらされたと思われる。熱帯低気圧による暴風雨の被害の程度についてはまだ報告がない。(1月3日、次の熱帯低気圧 Sally は東方1600 km (1000マイル)のクック諸島を通過し、2600万ドルと推定される被害を引き起こした)。

注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。

(気候変動対策室 田宮兵衛)

“Climate Impact Assessment: Tropical Countries” (1986年7月までは“Climate Impact Assessment: Foreign Countries”)は、USAID 資金の終了により本号(1986年12月)をもって最終刊となる旨、予告がありましたのでお知らせします。

(気象庁総務部企画課 気候変動対策室)